

The Journal of Physiological Sciences (JPS) の現況

The Journal of Physiological Sciences 編集委員長 (東京医療学院大学長)
佐久間康夫

トムソン・ロイター社から例年6月に発表となる Impact Factor によると, JPS は 2009 年には 1.125 だったものが, 2010 年には 1.356, 2011 年には 1.606 とこれまでになく高い値となりました (表 1) (Journal Citation Reports®). ひとえに投稿者の方々, 担当編集委員のご尽力, Referee をお引き受け下さった先生方, また論文のご執筆にあたり JPS 掲載論文を引用して下さっている方々のお力添えの成果です. 懸案だった総説も, 毎号 1 篇は掲載できるようになりました. この値は, Journal Citation Reports の Journal Rank in Category では Q3 (当該雑誌分野全体を IF 順に並べ, 4 つに分けた場合の第 3 グループ) にあたり, 本邦で刊行されている関連学会の雑誌, たとえば神経科学学会の Neurosci Res や薬理学会の J Pharmacol Sci, 内分泌学会の Endocr J と相対的に同じランクです. 一方, 世界の生理学領域では, Am J Physiol Endocr Metab, J Physiol Lond, Pflug Arch はいずれも Q1 (第 1 グループ) に位置しており, この点ではまだまだ努力が必要です.

2011 年には 218 件のご投稿をいただき, 59 件を出版したので受理率は 28%, ご投稿いただいてから約 2 ヶ月で査読の結果をお知らせしております. 出版された論文からみると 66% が日本国内発ですが, 投稿数では国内発は 27.5% と大変国際化が進みました. 今後良質の論文を海外から獲得しなければなりません.

評議員の皆様には冊子体をお届けしております. 冊子ご不要の方には 2011 年 12 月 19 日付けの PSJ-News としてメールでお届けしたログイン用トークンにより, ご購読いただいております. SpringerLink を契約されている図書館からは自由にアクセスしていただけます. 電子版へのアクセスが最近激増しており, 2011 年 12 月 1 ヶ月間で 2008 件がダウンロードされました. 出版の都度 Table of Contents Alerts をお届けしておりますが, 2011 年 12 月時点での登録は 402 件に留まっております. 是非ご登録下さい.

経営的には生理学会評議員の先生方からいただいている購読料, 日本学術振興会の学術定期刊行物助成金, 機関購読などでは到底まかなえず, 当面財政的自立を目指し, 将来的には米国生理学会のように学会財務に寄与するようにならねばなりません. 先の第 89 回日本生理学会大会総会の席上でオープンアクセスのご提案をいただきましたが, 投稿者にご負担を求める制度は, 特に海外からの投稿に影響する可能性があり, 適否について検討を進めております. 現状でも所定のご負担をいただければ, 個々の論文についてオープンアクセスとすることが可能です.

優秀論文を確保し, 若手研究者の育成を図るため「入澤賞」を設け, 選考委員会の投票により受賞者を決定, 副賞を差し上げていることは会員各位ご承知のことと存じます. 是非奮って優れた論文のご投稿をお願い申し上げるとともに, 編集委員から Referee の依頼が参った場合は是非快くお引き受け下さるよう, お願い申し上げます.

発表された論文の図などの引用についてお問い合わせを受けることが多くなりました. これまでと同様, ご自分の原著論文から教科書などへ図を引用される場合は, 生理学会事務局にご連絡いただければほぼ即日, メールで許可のお返事を申し上げます.

なお、過去の電子ファイルは

JPS vol. 56 (2006) — vol. 58 (2008): <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/physiolsci>

JJP vol. 1 (1955) — vol. 55 (2005): <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjphysiol>

をご覧ください。

表1. JJP/JPS Impact Factor の年次推移

The Japanese Journal of Physiology (until 2005)	JJP										
The Journal of Physiological Sciences (since 2006)	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
Number of Articles	64	59	52	78	84	66	60	63	48		
Total Cites	1007	1070	1073	1065	965	1072	1044	1027	996	1079	997
Impact Factor	1.007	1.294	1.187	1.351	1.077	1.117	0.860	0.810	0.870	1.081	1.042
Immediacy Index	0.148	0.149	0.058	0.164	0.043	0.089	0.158	0.154	0.125		
Cited Half-life	8.2	8.0	9.3	8.9	8.4	8.3	8.8	8.7	9.0	9.1	>10.0
5-Year Impact Factor											0.916
1年前の論文数	55	64	59	52	78	84	66	60	63	48	
2年前の論文数	82	55	64	59	52	78	84	66	60	63	48
1年前の論文の引用数	50	76	48	50	59	72	37	43	36	43	2
2年前の論文の引用数	88	78	98	100	81	109	92	59	71	77	48
1年前の論文の平均引用回数	0.91	1.19	0.81	0.96	0.76	0.86	0.56	0.72	0.57	0.90	
2年前の論文の平均引用回数	1.07	1.42	1.53	1.69	1.56	1.40	1.10	0.89	1.18	1.22	1.00

The Japanese Journal of Physiology (until 2005)	JPS					
The Journal of Physiological Sciences (since 2006)	2006	2007	2008	2009	2010	2011
Number of Articles	62	50	62	56	53	59
Total Cites	9	58	119	214	313	393
Impact Factor		0.726	0.973	1.125	1.356	1.606
Immediacy Index	0.097	0.180	0.097	0.268	0.340	0.254
Cited Half-life	9.4		2.1	2.5	2.7	3.1
5-Year Impact Factor		0.742	0.991	1.138	1.261	1.314
1年前の論文数		62	50	62	56	53
2年前の論文数			62	50	62	56
1年前の論文の引用数		45	45	52	77	66
2年前の論文の引用数			64	74	83	109
1年前の論文の平均引用回数		0.73	0.90	0.84	1.38	1.25
2年前の論文の平均引用回数			1.03	1.48	1.34	1.95

Source: Journal Citation Reports® (トムソン・ロイター)